

県立病院機構評価に係る評価指標ワーキンググループについて

1 概要

評価指標に関するワーキンググループを設置し、評価の指標と計画値を検討
病院機構は、それらの案を第 4 期中期計画へ反映するよう検討

2 これまでの課題、それに対する対策及び期待される効果

(1) 課題

実績報告書別冊の項目のうちおおよそ 8 割が年度計画の文章を用いており、評価の基準が曖昧なため、厳密さに欠ける評価になっている。また、評価委員から、「分量が多くて確認するのが困難な資料がある（別冊）」との声がある

(2) 対策

評価指標を定める（第 4 期の中期計画に指標及び計画値を入れる）。

指標	計画値
① 経常収支比率	100%
② 検診件数	前年より件数が増加

※評価項目全体のうちどこまでを定量的な評価にするかは要検討
・上記に併せて、実績報告書（別冊？）を簡略化

(3) 効果

- ① 評価基準の明確化により、評価結果に基づく PDCA サイクルをより効果的に回せるようになる。
- ② 評価が簡潔になるため、業務実績報告書の作成が省力化できる（例：別冊の廃止）

3 ワーキンググループ（以下、「WG」とする。）の設置目的及び構成

(1) 目的

- ① 上記課題について、令和 4 年度第 3 回評価委員会で行った議論をより深める
- ② 指標や計画値が妥当かどうか（PDCA サイクルが効果的に機能するような指標・計画値の設定になっているか等）について、専門的な観点からの意見
→作成された案を第 3 回評価委員会で報告

(2) 構成

構成員（構成員の担当指標）	構成員氏名
座長・評価委員	小口 壽夫（諏訪赤十字病院名誉院長）
評価委員（経営関連指標）	鮎澤 英之（あがたグローバル税理士法人）
評価委員（医業関連指標）	川合 博（前伊那中央病院院長）
評価委員（医業・経営関連指標）	浜田 淳（川崎医療福祉大学）
評価委員（医業関連指標）	宮坂 佐和子（長野県看護協会）
病院機構（医業関連指標）	濱野 英明（木曾病院院長）
病院機構（経営関連指標）	日向 修一（県立病院機構本部事務局長）
オブザーバー	打田 憲司（諏訪赤十字病院）

（裏面に続く）

4 今後のスケジュール案

第2回評価委員会(8月22日)

第1回評価指標WG

→事前に事務局素案を送付し、それに対する意見をお聞きする

第2回～第3回の間

●必要に応じオンライン等でWGを開催

●事務局素案を修正後、WG構成員以外の評価委員へ送付して意見照会

第3回評価委員会(2月)

①第2回評価指標WG(評価指標案の決定)

②評価委員会にて、第4期評価指標案を提示する

(中期目標・計画の検討状況にあわせ、令和6年度の評価委員会でも適宜見直し)